

JPA 日本光線力学学会 NEWS LETTER

NO.27 OCT. 2022

Contents

- 第 32 回日本光線力学学会学術講演会 岡本 芳晴 … 2 ページ
- 今後の学術講演会開催予定・関連学会開催予定 … 4 ページ
- Topics JPA 会長退任ご挨拶 加藤 治文 … 5 ページ
- Topics 新理事長就任のご挨拶 古川 欣也 … 7 ページ
- 事務局からのお知らせ … 9 ページ
- 編集後記 井上 啓史 … 11 ページ

第 32 回日本光線力学学会学術講演会

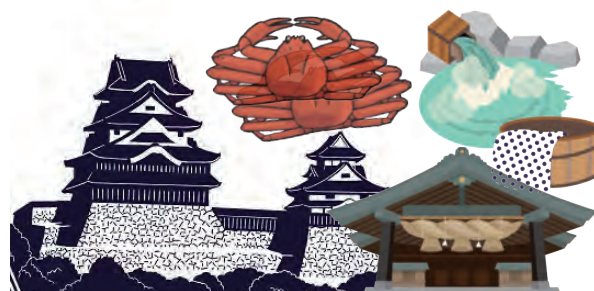
大会長 岡本 芳晴

(鳥取大学農学部共同獣医学科獣医外科学 教授)

この度、第 32 回日本光線力学学会を鳥取県米子市で 11 月 25、26 日に開催させていただきます。今回は、第 18 回日本脳神経外科光線力学学会(山本哲哉大会長)との合同で行います。2004 年の第 14 回大会以来、2 回目の鳥取での開催となります。伝統ある本大会を開催させていただきますことを大変光栄に思っております。

国内ではコロナ感染が高止まりの状況にあり、今後どのようになるのか不透明な状況です。しかし全国的に対面での学会が徐々に増えてきています。本学会も基本は対面(一部動画でも配信可)での開催を計画しています。特別講演としまして、国立がん研究センター東病院の土井俊彦先生にお願いしました。その他、シンポジウム、教育講演を企画しております。昨年、一昨年と日本レーザー医学会総会を併せた 3 学会合同でしたが、今回は 2 学会の合同で開催いたします。そのため、PDT に特化した講演が期待できると考えています。教育講演では、PDT の基礎的研究から未来に向けての話題までを企画しております。また、オンラインでは得られない会場での研究者間の交流により、さらなる PDT の発展が期待できるものと確信しています。さらに、学会場施設内での情報交換会を企画しております。会場では話せなかった質問等、懇親を深めていただければ幸いです。

山陰での開催は約 20 年ぶりとなります。米子市は近隣に出雲大社、鬼太郎ロード、大山などの観光地があります。また時期的に松葉カニのシーズンでもあります。食に観光に事欠かないところです。新型コロナがまだ完全に落ち着いているとは言えない中での開催になりますが、感染対策に十分注意して開催しますので、ぜひ、秋の米子で PDT の未来について語り合えればと思います。ご参加のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



資料3

第32回 日本光線力学学会学術講演会 第18回 日本脳神経外科光線力学学会 合同開催

会期

2022年11月25日^金・26日^土

会場

米子コンベンションセンター BIG SHIP
〒683-0043 鳥取県米子市末広町 294

会長

第32回
日本光線力学学会学術講演会
岡本 芳晴
(鳥取大学農学部共同獣医学科獣医外科学 教授)

第18回
日本脳神経外科光線力学学会
山本 哲哉
(横浜市立大学医学部医学研究科 脳神経外科学 教授)

大会HP

<http://takaihomepage.atari.jp/next.html>

今後の学術講演会開催予定

敬称略

◆ 第 32 回 日本光線力学学会学術講演会

大会長：岡本 芳晴（鳥取大学農学部共同獣医学科）
会期：2022年11月25日（金）・26日（土）
会場：鳥取県米子市（米子コンベンションセンター BIG SHIP）
・第18回日本脳神経外科光線力学学会と共催

◆ 第 33 回 日本光線力学学会学術講演会

大会長：片岡 洋望（名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学）
会期：2023年11月23日（木）～11月26日（日）（予定）
会場：東京近郊
・Laser Week in Tokyo III として、日本レーザー医学会、日本脳神経外科光線力学学会、日本レーザー歯学会の4学会共催

◆ 第 34 回日本光線力学学会学術講演会

大会長：秋元 治朗（厚生中央病院・東京医科大学 脳神経外科）

関連学会開催予定

◆ 4th PDT - PDD SYMPOSIUM

会期：2022年10月14日～28日
会場：Nancy, France
ホームページ：<http://www.pdt2022.com/>

◆ 第 43 回日本レーザー医学会総会

会期：2022年10月15日（土）～16日（日）
会場：京王プラザホテル
〒160-8330 東京都新宿区西新宿 2-2-1
会長：白田 実男（日本医科大学大学院医学研究科呼吸器外科学分野）
テーマ：新しいレーザー医学の創成～コロナ禍の世界に向けて
事務局：日本医科大学呼吸器外科内
〒113-8602 東京都文京区千駄木 1-1-5
ホームページ：<http://jslsn43.umin.jp/>

Topics



退任のご挨拶

名誉会長 加藤 治文

(前日本光線力学学会会長、日本医療学会理事長)

本学会の会長を退任するにあたり、ご挨拶をさせていただくとともに、PDT に対する私の思い出を述べさせていただきます。

早いもので私が PDT に携わって半世紀の時が過ぎました。私が入局した東京医大外科教室は肺がんを主研究としていました。私は 1974 年にスウェーデンのカロリンスカ研究所に肺がん発がん過程の研究に外遊しました。前がん病変から発がんまでの過程を DNA 解析で細胞形態学的に明らかにすることができましたが、臨床的な発がん時期の解明には至りませんでした。そんな時 1977 年米国の肺がん蛍光イメージング研究に興味を持ち、1978 年本格的に PDD, PDT の研究を始めたのでした。肺がん培養細胞による基礎実験に続き、ヘマトポルフィリン誘導体 (HpD)、Spectra Physics 社のクリプトンレーザーやアルゴンダイレーザー、池上通信社の高感度テレビカメラを使っての肺がん犬のがん病巣の内視鏡的蛍光観察、治療実験を行い、その成果を 1980 年の仙台での第 80 回日本外科学会総会で初発表をしました。その時の旭川医大の中島進先生の質問が印象的でした。その後早期肺がんの臨床第 1 例を経験し PDD, PDT が成功しました。1980 年の出来事でした。米国でこの成果が評価され、1980 年代は世界で PDT の臨床的研究が盛んに行われるようになりました。フォトリンをはじめとして種々の光感受性物質の開発、金蒸気レーザー、YAG-OPO レーザーなどの新規レーザーの開発も行われました。数々の基礎研究、臨床研究を東京医科大学の生理学教室の會澤勝夫助教授、外科の同僚小中、河手、米山、斎藤、小野、奥仲、古川らとともに行いました。その成果によって厚生省がん助成金研究班(早田班、加藤班)が結成され、6 年間に亘って、全国規模で PDT 研究が行われました。早期のがん(肺、食道、胃、子宮頸部)で PDT の有効性が確認され、1992 年に厚生省の薬事承認を得ることができました。この時の光感受性薬剤はフォトリン (HpD) で、レーザー装置はアルゴンダイレーザー、エキシマダイレーザー(浜松フォトニクス社)でした。保険に採用されたのは 1994 年でした。

1986 年東京で開催された第一回国際臨床 PDT 研究会 (CAPDT) (会長早田義博教授) が国際光線力学学会 (International Photodynamic Association (IPA)) と改名され、第一回 World Congress of IPA として開催されました。現在まで biannual で 17 回開催されていますが、わが国では第一回 (1986 年早田義博)、第九回 (2003 年筆者) が開催されました。将来是非我が国で再び開催してほしいと願う次第です。

1990年に本学会（JPA）がIPAの日本支部として創立され、わが国のPDTの発展に寄与してきました。

1990年代にはレザフィリン（タラポルフィン）が開発され、2004年に薬事承認されました。光感受性薬剤による日光過敏症が顕著に改善され、治療効果も向上し、現在では世界へ普及しつつあります。

また治療適応の最大課題であります粘膜浸潤深度の診断機器としてOCT(Optical Coherent Tomography) 気管支鏡(Pentax)が開発され、より正確な治療成績が得られるようにもなりました。

2014年には脳腫瘍のPDTが認可され、画期的な治療成績の改善が得られるようになりました。更に他に治療法の見つからない再発性の難治性食道がんの治療に対してもPDTの効果が認められ、薬事承認を得ています。このようにPDTの効能効果が益々向上しており、さらには子宮頸部早期がんや末梢型早期肺がんの臨床試験も最終段階にきていますし、膀胱がんに対しても臨床研究が進んでいます。

一方では、局所進行がんに対するiTAP(Intelligent Targeted Antibody Phototherapy)が現在研究開発されつつありますし、この手法が実現されますとPDTの適応は更に広がります。このようにPDTのがん治療への新展開が益々期待されます。

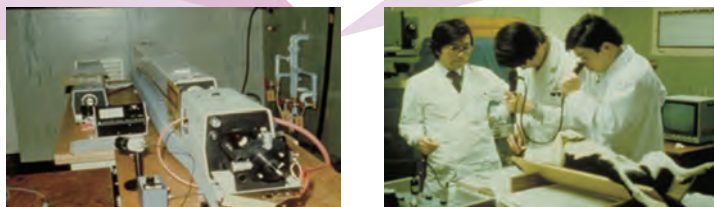
医療費が暴騰する中、PDTは安価で安全性も高く、適応選択により高い治療効果が得られることから医療費の抑制にも繋がることも期待されます。

1990年ドイツのTappeiner教授によって理論づけられたPDTが1世紀強を経てやっと臨床的に広まりつつあるとの感がありますが、まさにPDTのがん治療の新しい時代を迎えつつあるように思います。

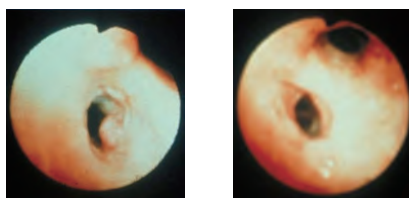
20数年に亘り、本会の会長として会員の皆様のご指導とご支援を賜り、大過なく運営できました。新会長を古川欣也教授にバトンをお渡しし本学会がますます充実発展されますように願う次第です。長い間、ありがとうございました。

【写真1】 1977年 犬肺がんモデルを使ったPDD,PDT実験風景

左：レーザー装置（アルゴンダイレーザー及びクリプトンレーザー）



【写真2】 1980年 早期肺がんのPDT 左：治療前 右：治療後





新理事長就任のご挨拶 ～新しい日本光線力学学会の船出に際して～

一般社団法人日本光線力学学会 理事長
東京医科大学茨城医療センター 呼吸器外科 教授 古川 欣也

昨年、東京にて Web 開催されました第 31 回日本光線力学学会総会の定例幹事会（2021 年 10 月 23 日）におきまして、加藤治文前会長のご推挙、幹事の先生方のご承認により伝統のある日本光線力学学会の新会長（現理事長）を僭越ではありますが 拝命することになりましたので、ここにご報告を兼ねてご挨拶申し上げます。会長（理事長）の職務は遥かに私の能力を超えた重責であり、身の引き締まる思いではありますが、日本レーザー医学会の前理事長を務めさせて頂いた経験を生かして、光線力学的診断治療法（Photodynamic Diagnosis/Therapy: PDD/PDT）の基礎および臨床研究の推進、普及、啓蒙活動、産官学の密接な連携に注力し、本学会の発展に微力ながら貢献していく所存で御座います。

光線力学的診断・治療法（PDD/ PDT）は、患者に優しい低侵襲診断治療法として世界的に注目されており、その基礎・臨床研究が推進されています。本学会は、早田義博先生、加藤治文先生により 1986 年に創設された国際光線力学学会（International Photodynamic Association: IPA）の日本支部会（Japan Chapter of IPA: JCIPA）として 1991 年に発足しました。第 1 回研究会は 1991 年 10 月 6 日に東京で開催されました。2001 年からは現在の日本光線力学学会（The Japan Photodynamic Association: JPA）に名称を変更し発展してきました。本学会の目的は、この PDD/PDT に関する基礎的、臨床的研究の発展とその成果の発表、適正使用の推進及び研究者の交流を深めることを目的としています。

私の会長就任時前後の課題として、学会事務局の移転の問題がありました。東京医科大学が監査を受けたことにより、先ず東京医科大学呼吸器・甲状腺外科にあった学会事務局を外部に移転させなければならなくなりました。日本医療学会理事長に就任したばかりの加藤治文前会長のご尽力もあり、日本医療学会と同じ築地コンビル 5 階に事務局を移転することができました。現在、事務局 3 名体制で再出発しています。今まで長きに渡り事務局を担当していただいた、東京医科大学呼吸器・甲状腺外科分野の池田徳彦主任教授、広瀬良美様に心より感謝申し上げます。

その他の課題として、会員数の増加、財政基盤の強化、委員会活動の活性化、各領域の研究および臨床の活性化、PDD/PDT の認知度のアップなど多くの改革が必要と感じています。これらの課題を克服していくためには、まず本学会の体制を確固たるものとして信頼される学会となることが重要であり、そのためには学会の一般社団法人化が必要と考えました。会長就任後、新事務局とその準備に入り、私と臼田実男先生、土田敬明先生の 3 名が設立理事、西脇由朗

先生が設立監事となり設立会議を開催し、本学会は2022年3月15日に晴れて一般社団法人日本光線力学学会となることができました。会員は社団法人の社員となり、幹事であられた先生方は評議員に移行していただきました。評議員の中から理事を選出させて頂くことになります。

現在、定款をホームページに掲載していますが、その後の修正点に関してパブリックオピニオンを広く求めた後に今年の社員総会で提案し承認を得て改定したいと思っています。また、財政基盤の強化を図るためには、魅力的な学会とし会員数の増加を図ることが必要です。そのためには、現在のホームページを刷新し、内容を充実しなければならないと考え既に着手しています。また、PDD/PDTを一般の方々に知っていただくために、日本医療学会と本学会の先生方のご協力により、PDTに関する座談会を動画で撮影し現在YouTubeで公開しています。既に第5回までが公開されており、今後も順次収録公開していくことになっています。ホームページにリンクを張っていますので一度ご視聴いただければ幸いです。

現在PDDにおいては、5-ALA製剤のアラベル®やアラグリオ®を用いた術中蛍光診断が悪性脳腫瘍、膀胱癌に保険適用になっており、正確な診断治療に寄与しています。また、ご存じのとおりPDTではフォトフリン®が使用できなくなって以来、レザフィリン®によるPDTが中心になっています。レザフィリン®は、中心型早期肺癌から始まり、その後に先生方の医師主導臨床試験のご努力により「原発性悪性脳腫瘍」、「化学放射線療法又は放射線療法後の局所遺残再発食道癌」に適用が拡大され全国に普及してきました。現在、早期子宮頸癌に対するPDTの医師主導臨床試験は既に完了し、承認一歩手前までできています。また早期末梢小型肺癌の臨床試験もう少しで完了します。この2つの疾患にレザフィリンPDTが適応拡大されると、疾患の潜在的症例数も多いため、多数の患者様に福音をもたらすこととなります。私としては、この素晴らしい薬剤を用いたPDTを日本に留まらず世界に展開していければとの期待がありますが、そのためには会員の先生方のご協力が必要になりますので、宜しくお願い致します。

以上、当学会の現状と将来像を述べさせていただきました。今後も日本脳神経外科光線力学学会や日本レーザー医学会とも協力し、当学会は光医療の発展にこれからも中心的な役割を果たしていきたいと存じます。最後になりますが、今年の第32回学術講演会は、鳥取大学農学部共同獣医学科獣医外科学、岡本芳晴教授により、11月25日26日の両日、米子コンベンションセンターにて開催されます。

会場で会員(社員)の皆様とお会いできることを楽しみにしています。

事務局からのお知らせ

■ 2022年3月15日（火） 一般社団法人としての設立理事会を開催。

設立代表理事古川欣也、設立理事白田実男、設立理事土田啓明、設立監事西脇由朗が出席し、一般社団法人化及びその定款、会則（3月22日一部改正）を決議。

・2022年3月31日現在 会員数 179名（2020年～2021年 新規入会者数 15名）
〈2021年度 年会費納入者数 147名（2022年8月末現在）〉

・2021年度会計報告（自2021年4月1日 至2022年3月31日）

会計：奥仲 哲弥 先生、監査：金子 貞男 先生、西脇 由朗 先生

(1) 収入の部

前期繰越金	7,055,374 円
会費収入	720,000 円
第31回学術講演会より返還金	30,000 円
預金利息	56 円
収入総計	7,805,430 円

(2) 支出の部

事務局経費	209,196 円
（幹事会・理事会経費、送料、文具、振込手数料他）	
第32回学術講演会開催準備金	600,000 円
PDT 講習会開催経費	4,345 円
支出総計	813,541 円

(3) 繰越収支差額 (1)-(2) 6,991,889 円
（内 1,165,427 円は Meiji Seika ファルマからの PDT 講習会の預り金）

■ 2022年7月12日（火） 臨時理事会を実施

・9月評議員会の開催、HPの改変を決議

■ 2022年11月より、事務局メールアドレスを以下に変更

・ info@jpa-pdt.or.jp

■ 日本光線力学学会ホームページ (<http://square.umin.ac.jp/jpa/>) に、

対談「がん治療に期待高まる PDT」、以下4回を掲載中

第1回、「がん治療に期待高まる PDT」（古川欣也×加藤治文）

第2回、「肺がんの PDT」（白田実男×加藤治文）

第3回、「食道がんへの PDT」（武藤学×加藤治文）

第4回、「脳腫瘍の PDT」（秋元治朗×加藤治文）

■年会費について

2022年度の年会費5,000円をまだ納入されていない会員の方へはご案内を同封しております。2022年12月31日までに振込みいただきたくお願い申し上げます。

年会費： 2022年度 5,000円

会費年度： 4月1日より翌年3月31日迄（会計年度は10月1日より翌年9月30日迄）

※ 10,000円の振込票が同封されている会員の方は、2021年度年会費が未納になっております。2022年度年会費と合わせてお振込みをお願い申し上げます。

お手数をおかけ致しますが、お振込先は下記のいずれかよりお願い申し上げます。

【郵便振替】

口座番号：00150-9-371545

名 義：日本光線力学学会

- ・他行から振替口座にお振込みの場合

店 番：019 〇一九

口座番号：当座預金口座 No. 371545

名 義：日本光線力学学会

どちらの名義も「一般社団法人」の記載は不要です。

【三井住友銀行】

支 店：浅草橋支店 店番：614

口座番号：普通預金口座 No. 7467418

名 義：一般社団法人日本光線力学学会

ご不明の点は、事務局までお問い合わせ下さい。

一般社団法人 日本光線力学学会事務局 (jpa-pdt@jhcs.or.jp)

(2022年11月より info@jpa-pdt.or.jp に変更)

〒104-0045 東京都中央区築地1丁目12番22号 コンワビル5F



編集後記

残暑お見舞い申し上げます。まだまだ新型コロナウイルス禍、ご苦勞が続く中、みなさまお元氣でご活躍のことと思います。

さて、来る 11 月 25 日(金)・26 日(土)、鳥取県米子市 米子コンベンションセンター BIG SHIP におきまして、第 32 回日本光線力学学会学術講演会が開催されます。鳥取大学農学部共同獣医学科 獣医外科学 教授 岡本芳晴先生が大会長を務めになり、第 18 回日本脳神経外科光線力学学会(大会長 横浜市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学 教授 山本哲哉先生)と合同で開催予定です。国立がん研究センター東病院 先端医療科長 土井俊彦先生による特別講演、シンポジウム、さらには PDT の基礎的研究から未来に向けての話題を取り上げた教育講演などが企画されており、今からとても楽しみです。

今回の JPA News Letter は、Topics として、本学会 会長として長年ご尽力頂きました加藤治文先生に会長ご退任のご挨拶を、さらには一般社団法人日本光線力学学会 新理事長 古川欣也先生に新理事長就任のご挨拶を頂戴しました。加藤先生の長年にわたる光線力学研究、さらには本学会へのへの功績を讃えるとともに、心からの感謝の意を表します。また、学会の一般社団法人化という新しい日本光線力学学会の船出を古川先生の力強いお言葉で飾って頂き、我々学会員の士気も高まりました。これからの日本光線力学学会の益々の発展に向けて学会員一同の奮起を誓い、編集後記を締めたいと思います。

編集委員長 井上 啓史
(高知大学医学部泌尿器科学講座)

日本光線力学学会事務局

東京都中央区築地 1-12-22

コンワビル 5F

E-mail : jpa-pdt@jhcs.or.jp

(2022 年 11 月より info@jpa-pdt.or.jp に変更)

学会 HP : <http://square.umin.ac.jp/jpa/>

日本光線力学学会 役員 (2021 - 2022 年)

*50 音順、敬称略

名誉会長	加藤 治文		故 早田 義博							
名誉副会長	中島 進									
理事長	古川 欣也									
理事	白田 実男		土田 敏明							
名誉会員	會沢 勝夫		林 潤一		故 久住 治男		平野 達 三木 徳彦			
	故 竹村 健		故 平嶋登志夫		故 三村征四郎		故 吉田 知之			
評議員	秋元 治朗	荒井 恒憲	粟津 邦男	池田 徳彦	石川 栄一	伊関 洋	磯本 一	井上 啓史	白田 実男	浦野 泰照
	大崎 智弘	大崎 能伸	岡崎 茂俊	岡本 芳晴	小笠原 浩二	奥仲 哲弥	小倉 俊一郎	小澤 俊幸	尾花 明	片岡 洋望
	加藤 治文	金山 尚裕	川島 徳道	北田 正博	小中 千守	小林 正美	斎藤 明義	阪田 功	坂本 優	佐藤 俊一
	鈴木 猛司	近間 泰一郎	土田 敬明	中津留 誠	中村 哲也	七島 篤志	檜原 啓之	平川 和貴	古川 欣也	松井 裕史
	松本 義也	三好 憲雄	武藤 学	村垣 善浩	室谷 哲弥	森田 明理	守本 祐司	矢野 友規	山本 淳考	
監事	金子 貞男		西脇 由朗							
会計	奥仲 哲弥									

日本光線力学学会 開催歴・予定

敬称略

	開催日時	大会長	開催地		開催日時	大会長	開催地
第1回	1991年10月6日	早田 義博 加藤 治文	東京	第18回	2008年6月14-15日	松本 義也	名古屋
第2回	1992年9月5日	中島 進	旭川	第19回	2009年7月4日	荒井 恒憲	横浜
第3回	1993年10月10日	奥田 茂	大阪	第20回	2010年6月12-13日	三好 憲雄	福井
第4回	1994年9月3日	竹村 健	札幌	第21回	2011年7月2-3日	粟津 邦雄	大阪
第5回	1995年11月3日	平嶋登志夫	東京	第22回	2012年7月6-7日	松村 明	茨城
第6回	1996年11月9日	阪田 功	岡山	第23回	2013年6月9-10日	大崎 能伸	旭川
第7回	1997年5月24日	西坂 剛	石川	第24回	2014年6月28-29日	西脇 由朗	浜松
第8回	1998年6月6日	三木 徳彦	大阪	第25回	2015年7月10-11日	古川 欣也	東京
第9回	1999年5月22日	會沢 勝夫	東京	第26回	2016年6月25-26日	坂本 優	横浜
第10回	2000年5月20日	金子 貞男	岩見沢	第27回	2017年7月14-15日	武藤 学	京都
第11回	2001年5月19日	吉田 孝人 平野 達	浜松	第28回	2018年11月1-2日	村垣 善浩	東京
第12回	2002年5月25日	林 潤一	東京	第29回	2019年9月19-20日	佐藤 俊一	東京
第13回	2003年3月22日	室谷 哲弥	東京	第30回	2020年10月9-10日	白田 実男	高知 WEB
第14回	2004年5月29-30日	南 三郎	鳥取	第31回	2021年10月22-23日	松井 裕史	東京 WEB
第15回	2005年6月11日	尾花 明	浜松	第32回	2022年11月25・26日	岡本 芳晴	米子
第16回	2006年5月13日	奥仲 哲弥	東京	第33回	2023年11月22-26日	片岡 洋望	東京
第17回	2007年6月16-17日	中村 哲也	栃木	第34回	2024年 未定	秋元 治朗	東京